

インマヌエル中目黒キリスト教会
聖日礼拝2007.5.6.CSデー

メッセージ

『グッドニュースをひとりじめ?』

第2列王記7章3-11節

竿代照夫牧師

聖書朗読

旧約聖書

第2列王記7章3-11節

変更箇所3節、8節

- 3 さて、四人のツアラウトに冒された人が町の門の入口にいた。彼らは互いに言った。「私たちはどうして死ぬまでここにすわっていなければならないのだろうか。」
- 4 たとい、私たちが町にはいろうと言っても、町はききんなので、私たちはそこで死ななければならない。ここにすわっていても死んでしまう。さあ今、アラムの陣営にはいり込もう。もし彼らが私たちを生かしておいてくれるなら、私たちは生きのびられる。もし殺すなら、そのときは死ぬまでのことだ。」

- 5 こうして、彼らはアラムの陣営に行こうと、夕暮れになって立ち上がり、アラムの陣営の端まで来た。見ると、なんと、そこにはだれもいなかった。
- 6 主がアラムの陣営に、戦車の響き、馬のいななき、大軍勢の騒ぎを聞かせられたので、彼らは口々に、「あれ。イスラエルの王が、ヘテ人の王たち、エジプトの王たちを雇って、われわれを襲うのだ。」と言って、
- 7 夕暮れになると、彼らは立って逃げ、彼らの天幕や馬やろば、すなわち、陣営をそのまま置き去りにして、いのちからがら逃げ去ったのであった。

8 このツアラアトに冒された人たちは、陣営の端に来て、一つの日幕にはいり、食べたり飲んだりして、そこから、銀や金や衣服を持ち出し、それを隠しに行った。また、戻って来ては、ほかの日幕にはいり、そこから持ち出し、それを隠しに行った。

9 彼らは話し合って言った。「私たちのしていることは正しくない。きょうは、良い知らせの日なのに、私たちはためらっている。もし明け方まで待っていたら、私たちは罰を受けるだろう。さあ、行って、王の家に知らせよう。」

10 彼らは町に行って、門衛を呼び、彼らに告げて言った。「私たちがアラムの陣営にはいってみると、もう、そこにはだれもおらず、人の声もありませんでした。ただ、馬やろばがつながれたままで、天幕もそっくりそのままでした。」

11 そこで門衛たちは叫んで、門のうちの王の家に告げた。

メッセージ

『グッドニュースをひとりじめ?』

第2列王記7章3-11節

竿代照夫牧師

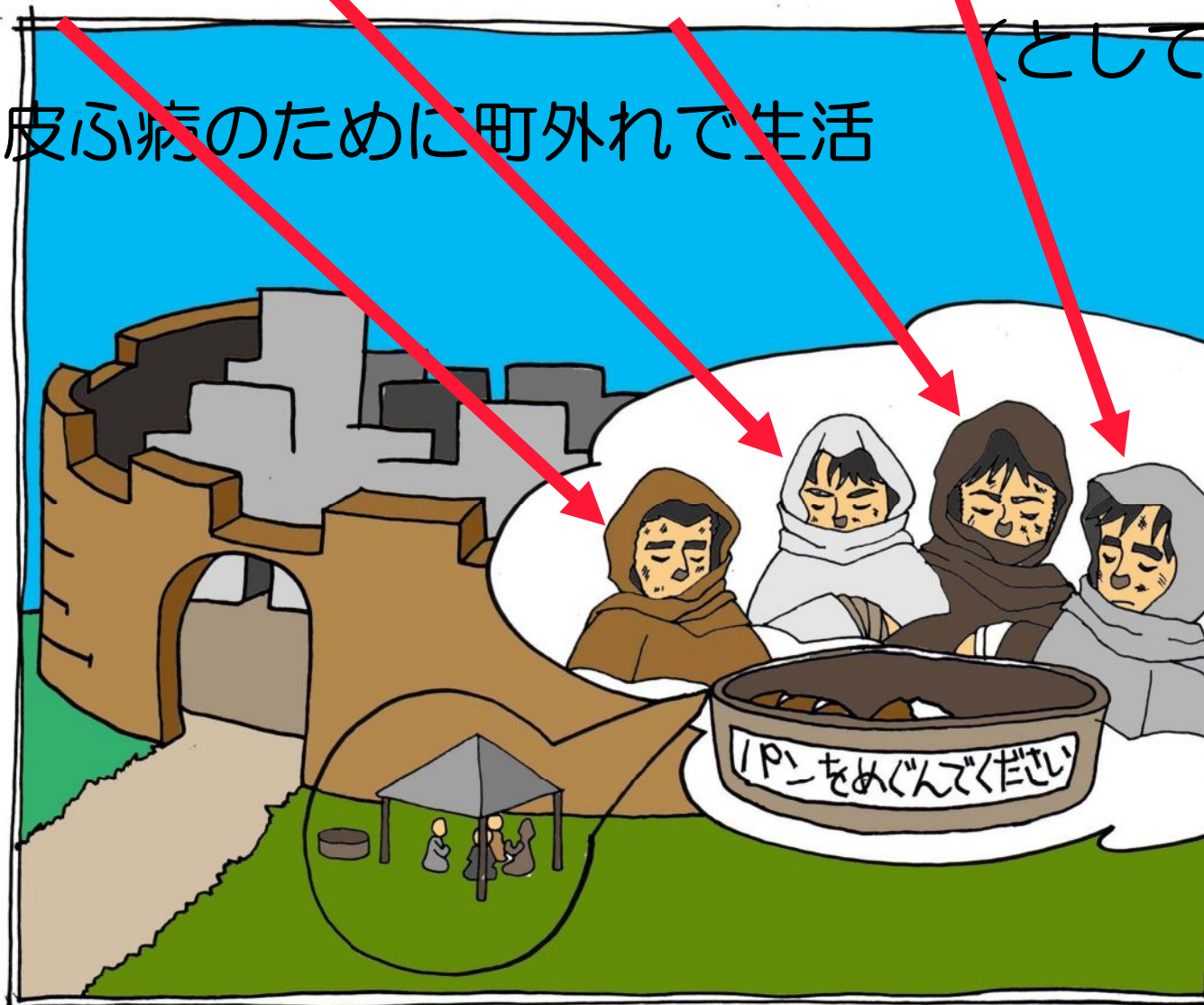
はじめに

1. 4人の友だち

- ・ イチエル、ニザヤ、サンソン、ヨンサム

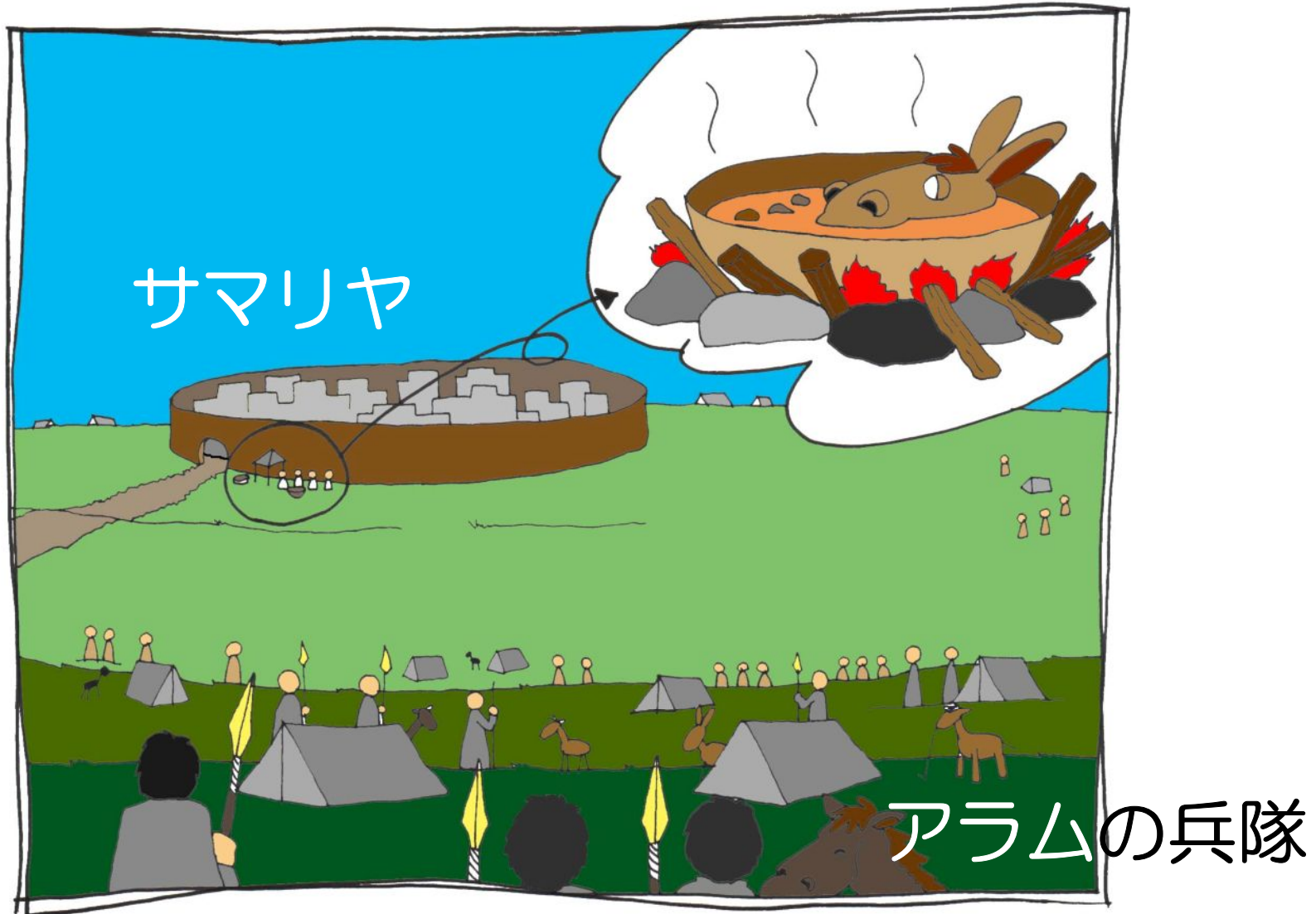
(としておこう)

- ・ 重い皮膚病のために町外れで生活



2. とても困った

- ・アラムの兵隊がサマリヤを取り囲む
- ・大変な飢饉（ロバの頭のスープも登場）



3. 大変な決心

- ・ 思い切って敵の陣地に
- ・ 空っぽのテントにびっくり



4. 町の人々のことも考えよう！

- ・グッド・ニュースをひとりじめにしたら？
- ・町の人々は救われた！



おわりに

福音（グッドニュース）を
聞いた僕達は どうする？